

令和6年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年4月30日

上場会社名 トラスコ中山株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9830 URL <https://www.trusco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 兼
 デジタル戦略本部長 兼 (氏名) 数見 篤 (TEL) 03-3433-9830
 オレンジブック本部長
 四半期報告書提出予定日 令和6年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第1四半期の連結業績(令和6年1月1日~令和6年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和6年12月期第1四半期	71,921	9.0	4,997	27.6	5,065	27.5	3,512	31.3
令和5年12月期第1四半期	65,983	7.9	3,915	12.3	3,972	8.2	2,675	5.6

(注) 包括利益 令和6年12月期第1四半期 3,858百万円(33.2%) 令和5年12月期第1四半期 2,896百万円(7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
令和6年12月期第1四半期	円 銭 53.26	円 銭 —
令和5年12月期第1四半期	40.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和6年12月期第1四半期	249,185	163,027	65.4
令和5年12月期	244,878	160,716	65.6

(参考) 自己資本 令和6年12月期第1四半期 163,027百万円 令和5年12月期 160,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和5年12月期	—	23.00	—	23.50	46.50
令和6年12月期	—	—	—	—	—
令和6年12月期(予想)	—	24.00	—	25.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年12月期の連結業績予想(令和6年1月1日~令和6年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,768	5.6	9,017	△1.5	9,106	△1.8	6,227	2.7	94.43
通期	284,710	6.2	18,610	0.5	18,850	1.0	14,740	20.1	223.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	令和6年12月期1Q	66,008,744株	令和5年12月期	66,008,744株
② 期末自己株式数	令和6年12月期1Q	67,670株	令和5年12月期	67,493株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	令和6年12月期1Q	65,941,158株	令和5年12月期1Q	65,942,279株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概況

1. 令和6年12月期第1四半期の個別業績 (令和6年1月1日~令和6年3月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和6年12月期第1四半期	71,720	8.9	4,955	27.3	5,018	27.1	3,472	30.8
令和5年12月期第1四半期	65,829	7.9	3,891	12.3	3,947	7.9	2,655	5.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
令和6年12月期第1四半期	52.66		—					
令和5年12月期第1四半期	40.27		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和6年12月期第1四半期	248,900	162,797	65.4
令和5年12月期	244,786	160,672	65.6

(参考) 自己資本 令和6年12月期第1四半期 162,797百万円 令和5年12月期 160,672百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の経営成績

	金額（百万円）	前年同四半期増減率（％）
売上高	71,921	9.0
営業利益	4,997	27.6
経常利益	5,065	27.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,512	31.3

当第1四半期連結累計期間（令和6年1月1日～令和6年3月31日）における日本経済は、大手自動車メーカーの生産停止の影響に加え、能登半島地震や中国経済減速も生産活動を下押しし、製造業の景況感は悪化しました。先行きについても、製造業では一時的な下押し要因が解消に向かうと期待されるものの、物価上昇による需要の減少やコストの増加、及び人手不足の深刻化等の懸念から慎重とならざるを得ない状況といえます。

このような環境下で当社及び連結子会社は、いつの時代もお客様や社会から必要とされる企業を目指し、「がんばれ！！日本のモノづくり」の企業メッセージのもと、「業界『最速』『最短』『最良』の納品を実現できる企業になりたい。」等、11項目の「ありたい姿」（能力目標）実現のための取組みを継続しました。このような取組みを通じてお客様にとって最高の利便性を提供することが、結果として環境負荷軽減など社会課題の解決につながると考えています。

サプライチェーン全体の最適化・合理化を図る主な取組みとして、「ニアワセ+ユーチョク」（荷物詰合わせ+ユーザー様直送）の利用促進を更に強化しました。当社は在庫を多数保有しているだけでなく、最先端の物流機器とデジタルを組み合わせて活用することで、複数の商品を1つの梱包に「ニアワセ」（荷物詰合わせ）し、卸売である当社が「ユーチョク」（ユーザー様へ直送）することが可能になります。このサービスにより、納品リードタイムの短縮に加え、得意先様の配送業務や送料が削減できます。また、配送や梱包資材にかかる二酸化炭素排出量などの環境負荷を軽減することができ、環境保全につながる取組みとしてネット通販企業様を中心に高い評価を得ています。加えて、究極の即納を実現する置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」の拡大、在庫アイテム数や商品データ保有数の拡充、AI見積「即答名人」[見積自動化システム]の利用推進、欠品・欠量を防ぐための在庫最適化、プライベート・ブランド商品のブラッシュアップ、修理工房「直治郎」の取組みを強化しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は719億21百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。販売費及び一般管理費は達成インセンティブの導入やパートタイマー人件費増加に伴う給料及び賞与の増加や、売上の拡大に伴う出荷量増加による運賃及び荷造費の増加により98億14百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。一方、上昇していた仕入れ価格の販売価格転嫁や仕入先様別の収益改善活動が進み、売上総利益率が20.6%（前年同四半期は20.1%）と改善したため、営業利益は49億97百万円（前年同四半期比27.6%増）、経常利益は50億65百万円（前年同四半期比27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億12百万円（前年同四半期比31.3%増）となりました。

②セグメント別売上高の状況

	当第1四半期連結累計期間 自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日		前年同四半期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファクトリールート	48,945	68.1	8.1
e ビジネスルート	16,338	22.7	12.5
ホームセンタールート	5,921	8.2	4.9
海外ルート	716	1.0	29.6
合計	71,921	100.0	9.0

1) ファクトリールート (製造業、建設関連業等向け卸売)

ファクトリールートにおいては、全国に28か所ある物流センター及び全国に29か所ある在庫保有支店が、市場のニーズに即した在庫拡充を進め、受注頻度に合わせて在庫量を適切に管理することで得意先様の利便性向上に努めました。また、ユーザー様の工場に、置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」を設置することで、工場内ですべて商品の調達が可能となるサービスの拡大や、サプライチェーン全体の物流コストや手間を大幅に削減できる「荷物詰合わせ+ユーザー様直送サービス」、リユースの促進につながる修理サービスの修理工房「直治郎」のPRを強化するなど、環境負荷の軽減にもつながる営業活動を行いました。これらの活動により、環境保全の取組みを加速するとともに、得意先様の課題を迅速に解決することで、売上高の増加につながりました。また、商品分類別では、主に生産工場の稼働に係る環境安全用品やハンドツール、オフィス住設用品などの売上高が増加しました。

その結果、売上高は489億45百万円(前年同四半期比8.1%増)、経常利益は34億68百万円(前年同四半期比15.5%増)となりました。

2) e ビジネスルート (ネット通販企業等向け販売)

e ビジネスルートにおいては、3,550社の仕入先様との協業を基軸に、約437万アイテムに及ぶ商品データと得意先様のシステムとの連携を強化し、得意先様毎のご要望に合わせた物流加工を行いました。また、4か所の物流センターに6ライン導入しているI-Pack® (アイパック) [高速自動梱包出荷ライン] を活用し、ユーザー様への直送のニーズにお応えしました。これらの取組みにより、e ビジネスに必要な高品質のサービスを提供することで、お客様の利便性が向上し、売上高の増加につながりました。また、商品分類別では、主に生産工場の稼働に係る環境安全用品やオフィス住設用品、ハンドツールなどの売上高が増加しました。

その結果、売上高は163億38百万円(前年同四半期比12.5%増)、経常利益は14億59百万円(前年同四半期比70.5%増)となりました。

3) ホームセンタールート (ホームセンター、プロショップ等向け販売)

ホームセンタールートにおいては、建築現場などで働くユーザー様をターゲットとしたプロショップなど、各得意先様に対し売場提案や商流集約に向けた営業活動を強化しました。また、ホームセンター各社がEC事業を強化していることから、当社の約60万アイテムに及ぶ在庫と物流設備を活用したサービスを積極的に提案しました。これらの取組みにより、得意先様のリアルとネットを融合したビジネスへの需要に応えることができ、売上高の増加につながりました。また、商品分類別では、作業用品や環境安全用品、ハンドツールなどの受注が増え、売上高増加に寄与しました。

その結果、売上高は59億21百万円(前年同四半期比4.9%増)、経常利益は62百万円(前年同四半期比21.7%増)となりました。

4) 海外ルート（連結子会社業績、諸外国向け販売）

海外ルートにおいては、連結子会社である TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION(THAILAND)LIMITED 及び PT. TRUSCO NAKAYAMA INDONESIA の業績と海外部の諸外国向け販売を含めています。連結子会社では、在庫アイテムの見直しによりリードタイムを短縮し、また現地得意先様及び仕入先様の開拓を進めることで販売活動を強化しました。さらに、海外部の諸外国向け販売では、アジア太平洋地域を中心に E C 企業との口座を開設するなど、取引を拡大しました。

その結果、売上高は7億16百万円(前年同四半期比29.6%増)、経常利益は60百万円(前年同四半期比211.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べ43億7百万円増加の2,491億85百万円(前連結会計年度末比1.8%増)となりました。その主な要因は、売掛金が30億3百万円増加、商品が13億45百万円増加、建設仮勘定が44億40百万円増加、現金及び預金が33億61百万円減少、電子記録債権が4億45百万円減少、建物が5億59百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億96百万円増加の861億58百万円(前連結会計年度末比2.4%増)となりました。その主な要因は、買掛金が36億74百万円増加、未払金が10億87百万円増加、未払法人税等が28億25百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億11百万円増加の1,630億27百万円(前連結会計年度末比1.4%増)となりました。その主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益35億12百万円の計上により増加し、配当金15億49百万円の支払により減少したことによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末の65.6%から65.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和6年2月9日発表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,283	39,921
売掛金	34,322	37,325
電子記録債権	2,821	2,375
商品	50,848	52,193
その他	734	747
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	132,008	132,562
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	45,989	45,429
機械及び装置(純額)	6,535	6,262
工具、器具及び備品(純額)	1,267	1,233
土地	38,747	38,952
建設仮勘定	10,149	14,589
その他(純額)	1,880	1,836
有形固定資産合計	104,569	108,304
無形固定資産		
ソフトウェア	2,610	3,627
その他	1,961	998
無形固定資産合計	4,572	4,625
投資その他の資産		
投資有価証券	2,529	2,822
繰延税金資産	673	311
再評価に係る繰延税金資産	155	155
その他	504	538
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	3,728	3,692
固定資産合計	112,870	116,623
資産合計	244,878	249,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,461	24,136
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,500	8,500
未払金	3,544	4,632
未払法人税等	4,248	1,423
賞与引当金	687	818
役員賞与引当金	-	33
その他	2,293	2,203
流動負債合計	49,735	51,746
固定負債		
長期借入金	31,500	31,500
役員退職慰労引当金	151	151
長期預り保証金	2,773	2,758
その他	1	2
固定負債合計	34,426	34,411
負債合計	84,162	86,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,022	5,022
資本剰余金	4,711	4,711
利益剰余金	150,298	152,263
自己株式	△82	△82
株主資本合計	159,950	161,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	836
土地再評価差額金	△353	△353
為替換算調整勘定	486	629
その他の包括利益累計額合計	765	1,112
純資産合計	160,716	163,027
負債純資産合計	244,878	249,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	65,983	71,921
売上原価	52,748	57,109
売上総利益	13,234	14,811
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,952	2,154
役員報酬	74	77
給料及び賞与	2,481	2,725
賞与引当金繰入額	706	812
福利厚生費	597	622
減価償却費	1,545	1,441
支払手数料	653	659
その他	1,308	1,320
販売費及び一般管理費合計	9,319	9,814
営業利益	3,915	4,997
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	10	11
不動産賃貸料	43	43
その他	36	65
営業外収益合計	92	123
営業外費用		
支払利息	20	41
賃貸収入原価	7	11
その他	7	1
営業外費用合計	35	54
経常利益	3,972	5,065
特別損失		
土壌汚染処理費用	78	-
特別損失合計	78	-
税金等調整前四半期純利益	3,894	5,065
法人税、住民税及び事業税	1,250	1,280
法人税等調整額	△31	272
法人税等合計	1,218	1,553
四半期純利益	2,675	3,512
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,675	3,512

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
四半期純利益	2,675	3,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	203
為替換算調整勘定	166	143
その他の包括利益合計	220	346
四半期包括利益	2,896	3,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,896	3,858

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファクトリー ルート	eビジネス ルート	ホームセンター ルート	海外 ルート	計		
売上高							
作業用品	8,113	1,979	2,021	70	12,183		12,183
環境安全用品	7,446	2,767	921	39	11,175		11,175
ハンドツール	7,328	2,531	1,264	104	11,227		11,227
工事用品	5,414	1,942	488	36	7,881		7,881
物流保管用品	5,459	1,512	304	18	7,296		7,296
オフィス住設用品	4,014	1,671	209	19	5,916		5,916
生産加工用品	3,634	1,139	124	63	4,962		4,962
研究管理用品	2,009	771	17	27	2,826		2,826
切削工具	1,768	166	134	14	2,084		2,084
その他	78	35	156	158	428		428
顧客との契約から 生じる収益	45,268	14,518	5,643	552	65,983		65,983
外部顧客への 売上高	45,268	14,518	5,643	552	65,983	—	65,983
セグメント利益又は 損失(△)(注)1	3,003	856	51	19	3,930	42	3,972

(注)1 「セグメント利益又は損失(△)」は、経常利益又は損失を表示しています。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額42百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれていません。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファクトリー ルート	eビジネス ルート	ホームセンター ルート	海外 ルート	計		
売上高							
作業用品	8,407	2,197	2,188	72	12,866		12,866
環境安全用品	8,330	3,255	992	37	12,616		12,616
ハンドツール	8,181	2,817	1,306	143	12,448		12,448
工事用品	5,765	2,105	498	52	8,421		8,421
物流保管用品	5,762	1,544	291	35	7,634		7,634
オフィス住設用品	4,712	1,999	224	30	6,966		6,966
生産加工用品	3,773	1,364	132	78	5,349		5,349
研究管理用品	2,057	812	23	42	2,935		2,935
切削工具	1,859	183	128	22	2,193		2,193
その他	94	58	133	201	488		488
顧客との契約から 生じる収益	48,945	16,338	5,921	716	71,921		71,921
外部顧客への 売上高	48,945	16,338	5,921	716	71,921	—	71,921
セグメント利益又は 損失(△)(注)1	3,468	1,459	62	60	5,051	14	5,065

(注)1 「セグメント利益又は損失(△)」は、経常利益又は損失を表示しています。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額14百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれていません。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。